

学校法人朴沢学園創立140周年記念夢実現寄付金趣意書

本学園は、令和元年、創立140周年を迎えました。本学園設置の明成高校を卒業しNBAを目指してゴンザガ大学に進学した八村塁君は、今年6月のドラフトで一巡9位指名を得てウィザーズ入りを実現しました。本学園は、大志を抱いて飛躍を実現しようとする次に続く若者の夢実現に継続して取り組んでいきます。

明治12年、近代日本の草創期に、創始者は、「創意工夫ある実学（人材育成）教育」を建学の精神として、本学園を立ち上げました。本学園は、県下随一の長い歴史と伝統を有しております。

時代変遷の中、空襲による校舎全焼、大学新設の際の定員未充足による経営危機、東日本大震災被災など、幾多の困難を乗り越え、現在18歳人口の減少期の厳しい経営環境下、本学園は、今年度創立140周年を迎えます。今後も継続して多様な生徒・学生にきめ細やかな教育の実施を行っていきます。

今後のさらなる学園の発展のために、今年度より5年間を本学園教育再創造期と位置づけ、現状の冷静な分析把握に取り組み、私学教育のフレームワークの見直しにチャレンジしていきます。

設置する仙台大学と明成高校との7年間教育一体化を強化し、来年度附属高校化ならびに学科再編を実施し厳しい経営環境下での生き残りを図っていきます。

設備計画に基づき川平地区再整備事業（明成高校の校舎建替、仙台大学仙台サテライト拠点設置他）の実施、仙台大学においては硬式野球場の人工芝化、第一体育館の建替等取り組んで行くべき案件が目白押しです。

本学園が、生き残りを賭けた戦いに勝ち残るためには、教育の質の向上ならび

に時代に則した良質な教育環境の維持が必須となり、そのためには、皆様からのご支援がますます重要となってまいりますので、是非とも、ご高配を賜りたく、お願い申し上げる次第でございます。本学園は「特定公益増進法人」の指定を受けており税制上の優遇措置も活用いただけます。もとより、厳しい経営環境下ではありますが、時代の求めを的確に捉え、全学的に支出の無駄を的確に排除し、そして、計画的に学園運営に取り組むことにより、安定した経営の実現に邁進していく所存です。

本学園は、夢実現寄付金を活用してひとりでも多くの学生・生徒の思いをかなえられるよう教育の質の向上、学びの環境整備等に邁進していきます。

当学園にご賛同いただけます皆々様に、広くご支援のお願いを申し上げます。

令和元年12月

学校法人朴沢学園理事長 朴 澤 泰 治

仙台大学学長 遠 藤 保 雄

明成高等学校校長 中 村 勝 彦